

住民発意で再生に取り組む団地を選定！

～市内 7 団地の応募の中から 2 団地を選定～

集合住宅団地に居住する住民が主体となって、団地の課題や再生に向けた将来計画の策定を支援していくことを目的として、団地再生提案の公募を行いました。

このたび、市内 7 団地の応募の中から、建替え・改修等のハード面や子育て・福祉等のソフト面など総合的な視点で 2 団地を選定しました。

これらの団地には、コーディネーターを派遣し、住民が団地の課題や将来像を共有していくための支援（団地再生マスタープランの策定等）を行っていきます。

選定結果（支援団地）

●たまプラーザ団地（建築年：昭和 43 年 住棟・住戸数：47 棟 1,254 戸）

申請者：たまプラーザ住宅管理組合理事会

建物所在地：横浜市青葉区美しが丘 1 丁目 14 番地ほか

提案概要

～子育て世代を中心に団地の将来像を検討～

- ・団地内の歩道や標識・街灯の更新計画の策定、維持管理
- ・歩道に隣接する集会所等の施設の再整備計画
- ・建替えかこのまま住み続けるか、今後の議論の道筋を検討

【講評】

中央歩道を軸としたまちづくり検討や団地の将来計画の整理など、取り組んでいきたい内容が分かりやすく整理されていました。また、子育て世代を含んだ「団地再生検討委員会」を構成するなど検討体制がしっかりしており、団地全体への取組として広がり期待される提案として高く評価されました。



●南長津田団地（建築年：昭和 46 年 住棟・住戸数：21 棟 488 戸）

申請者：南長津田団地自治会

建物所在地：横浜市緑区長津田町 3016-1

提案概要

～住民の活動力を資源に、団地の将来像を検討～

- ・災害時の避難拠点として集会所の整備
- ・集会所を拠点とした地域活動の仕組みづくり
- ・改修や建替え等、建物の将来の方向性の検討

【講評】

団地の課題認識がしっかりなされ、団地の中央にある集会所と公園を核として、高齢者の生活支援や子育てサポート拠点の整備、避難拠点としての防災機能の充実など、取り組んでいきたい内容がわかりやすく整理されていました。また、将来の建替えも視野にいたった再生のステップがイメージされ、住民主体の活動も活発であり、他の団地の課題解決にも結び付く意欲的な提案として高く評価されました。



●選定の経過及び今後の予定

日程	経過
平成25年 7月13日	団地の再生に向けたキックオフセミナー開催 (事業の募集要項等の説明)
同年 7月13日～8月23日	質疑受付期間
同年 9月 2日～9月10日	提案書提出期間
同年 9月25日	審査委員会
同年10月 4日	支援団地公表
同年10月上旬～翌年 3月末日	団地再生支援の実施



●選定の視点

- ◆団地の現状や課題が把握され、その内容が整理されているか
- ◆団地の課題解決に向けて取組意欲が感じられ、検討の体制や取り組みたい内容が整理されているか
- ◆市内にある多くの団地にも共通する内容であり、他の団地の解決への糸口として期待できるか

●団地再生支援モデル事業

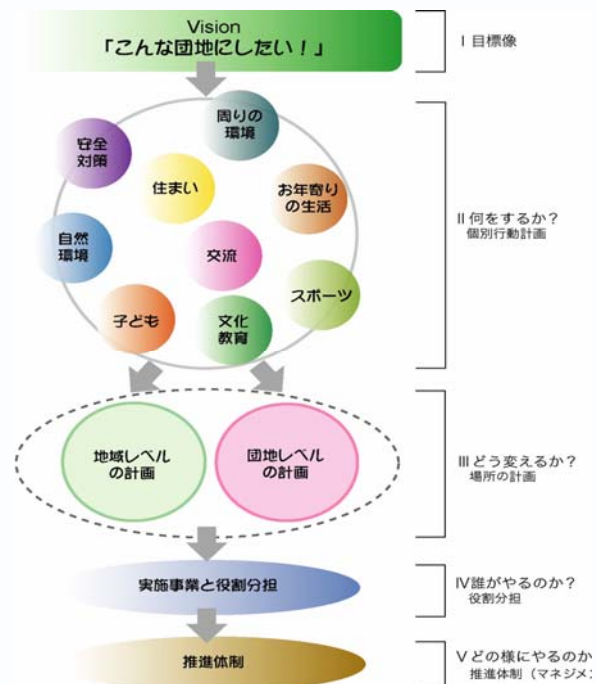
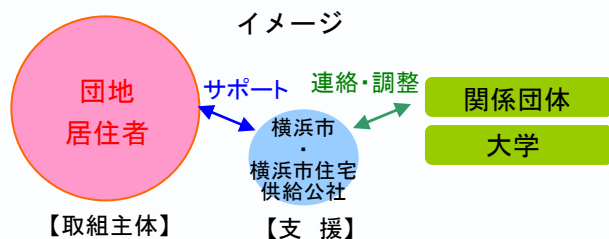
高度成長期に建設された団地は、建物の老朽化や居住者の高齢化、近隣や団地内の商店の撤退など様々な課題が顕在化しています。

この事業は、団地に居住する住民が中心となって、団地の課題や再生に向けた将来像を共有することを目的として、「住民発意の団地再生」を支援する取組について提案を求め、選定された団地へ市が支援を行うものです。

【支援内容】

住民が中心となって会議の開催や議論を進めていくことを前提に、以下の内容について支援を行います。

- ◆団地内居住者向けに勉強会（事例紹介、講座等）を実施
- ◆団地の課題や将来像を共有（団地再生マスタープランの作成など）するために必要な情報収集及び資料提供、コーディネート等を実施
- ◆打合せ内容及び進捗に応じて団地の会合等へ参加（月1回程度を予定）



※団地再生マスタープラン（イメージ）

地域や住民が団地の課題と将来像を共有するための民意のマスタープラン

《ホームページ》

『横浜市 団地再生』で検索

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/housing/seisaku/danchi-proposal/chosa/>

お問合せ先 建築局住宅計画課長 黒田 浩 Tel 045-671-2917